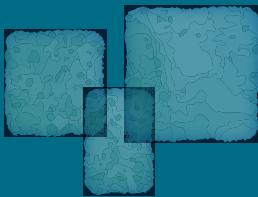


誰もが使える インフラを作る

—原昌宏氏のQRコード開発—

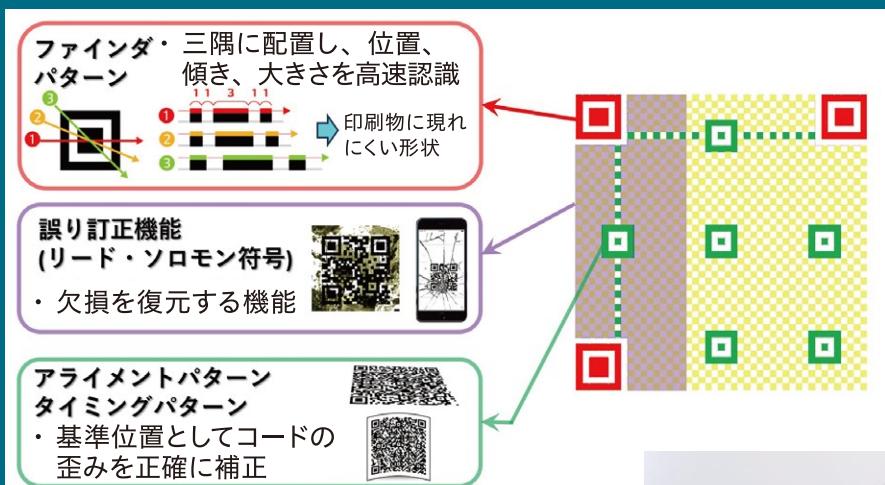


会期 2024年10月11日～2025年3月24日(予定)

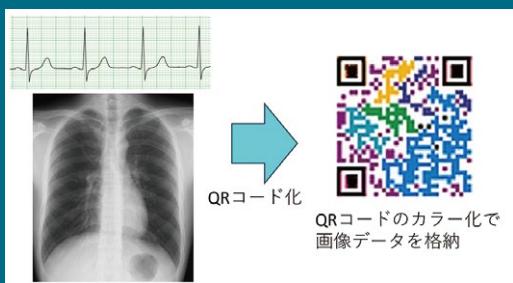
場所 HOSEIミュージアム・サテライト小金井
(法政大学小金井キャンパス西館1階)

[展示概要]

私たちの生活に欠かせないインフラとなっているQRコードは、法政大学第二高等学校・法政大学工学部卒業、株式会社デンソーウェーブ主席技師の原昌宏氏により1994年に開発されました。誰でも使えるものを作りたいという思いのもと開発されたQRコード。開発から普及、今後の展開について、ご紹介いたします。



誕生	セキュリティ	デザイン	形状
1994 QRコード® ○高速読み取り ○大容量 ○汚れに強い	2007 SQRC® ○暗号機能 ○2層構造 ○偽造・改ざんを防止 ⇒チップへの採用	2011 複製防止 QRコード ○複製を防止 ⇒製品の真贋判定 磁気切替の活用	2014 フレームQR® ○デザイン性向上 ⇒サイズの秘密語 ○長方形 ⇒細長いスペースの有効活用 円柱部品管理
・カメラ付携帯の普及 ・偽装問題	・電子チケット ・キャッシュレス決済	・SNS普及 ・O2O普及	・安全・安心 ・注意喚起の強化
社会の変化			



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



▲原昌宏氏



お問い合わせ 電話：03-3264-6501 Mail：museum@hosei.ac.jp

主催：HOSEIミュージアム 共催：法政大学理工学部



ミュージアムウェブサイト